

## 令和5年度（2023年度）第1回環境基本計画推進委員会 議事録

- 1 日時 令和5年（2023年）5月30日（火）13時～15時
- 2 場所 603会議室
- 3 出席者 近藤 高史、判治 圭祐、山本 隆明、吉原 雅哉、武富 時満、寺島 賀子、早川 権慈、南川 陸夫、毛利 まり子、加古 博之、龍田 昭一、森岡 良枝、吉鶴 弥生、千頭 聡アドバイザー（委員13名、アドバイザー1名、敬称略）  
環境経済部長（途中退席）、環境経済部次長兼生活環境課長、清掃センター課長、生活環境課統括主任、生活環境課ゼロカーボン戦略室統括主任、生活環境課主任、生活環境課主事、清掃センター主事（事務局9名）
- 4 欠席者 牲川 順一、田中 治幸（2名）
- 5 会議の公開 公開
- 6 傍聴者 0名
- 7 内容
  - (1) 委嘱状交付及びあいさつ  
環境経済部長より、委員への委嘱状の交付及びあいさつをした。  
ア 委員及びアドバイザー  
イ 環境経済部長  
ウ 事務局
  - (2) 委員長等の選任  
指名推薦により、山本委員が委員長に、判治委員、吉原委員、寺島委員がそれぞれ副委員長に決まった。また、委員長の職務代理者は吉原委員に決まった。
  - (3) 説明事項  
令和5年度（2023年度）の年間スケジュール及び本会議のタイムスケジュールについて、事務局より資料を用いて説明をおこなった。委員からの意見等はなし。
  - (4) 協議事項  
事務局より資料を用いて説明を行った。委員からの意見等はなし。
  - (5) 年次報告書の成果指標の評価について  
事務局より資料を用いて説明を行った。  
部会に分かれて議論し、その内容について、全体会で各部会長より概要を報告した。  
ア 社会環境部会（寺島部会長）

## ア) 環境の柱2

エコスクールの様子を現在はホームページに写真をアップして伝えているが、講座の様子をPR動画として流してはどうか。映像になることで、参加者数の増加に繋がると思う。

## イ) 環境の柱1

指標3及び指標4について、降下ばいじんの数値は下がっているので良くなっているとは思いますが、日常生活に何らかの支障があるため実感に繋がっていないと考える。また、最近は小学生に対して企業が出前講座を行うことはあっても、工場内の見学ができていなかったもので、校外学習で工場見学をして子供たちが自分の目で確かめる機会があればいいと思う。

指標6について、騒音は今のところ問題ないが、駅西の開発により物流関係でトラックの走行量が増えるなどした場合に、今後問題が出る可能性はあると思う。

指標7について、昔から住んでいる人はきれいになったと思いますが、引っ越してきた人やきれいな川を見てきた人からすると、川底にごみが落ちていたりすると汚いと思うかもしれません。

指標8については、土留木川のBODが上がっていますがこれが一時的な上昇なのか様子を見る必要があると思います。

## イ 生活環境部会（吉原部会長）

### ア) 環境の柱1

指標1について、参加者数は講座開催数が増えれば、当然増えていくと思う。一方で、満足度という点ではリピーターや参加できなかった人へのフォローを行う必要があると思う。満足度を上げることが、講座開催者のスキルアップにも繋がると思う。

指標2について、「東海なび」が起動してから使用できるようになるまで、時間がかかることについて改善をお願いしたい。

### イ) 環境の柱3

指標10について、太陽光発電の設置件数が増えていることは一つの成果だと思いますが、耐用年数が近づいており廃棄物が増えるのではないかと懸念している。不法投棄に繋がらないような対策が必要と思う。

指標11について、利用者の年齢層の分析をされているということであれば通院や通所利用等のニーズに応えられるような、運行ルートや便数を検討するのが良いと思う。

指標12について、地域内にポイ捨てが目立つという意識を持つことは意識醸成が着実に進んでいるということになるが、成果として現れていることを評価するためには回収量など客観的な数値を指標とするほうが良いと思う。

指標13及び14については、意識醸成が進んでいること及びコロナの収束により、数値が回復していくことを期待している。

指標15及び16について、どちらも横ばい傾向が続いており、現状のままでは数値の増加は難しいので、農地を緑に加えてみてはどうかと意見があった。

#### ウ 廃棄物・リサイクル部会（判治部会長）

##### ア) 環境の柱1

指標1について、参加者が増えてきているのでこのまま継続すると良いと思います。また、東海市はゼロカーボンシティ宣言をしているため、電気自動車や地球温暖化というテーマで開催していますが、そのような新規の講座を増やして内容を充実していくと良いと思います。

指標2について、アプリは意識しないとダウンロードしないという意見があった。その代わりにLINEやツイッターを始めたということで、様々な媒体を利用することは良いと思う。

##### イ) 環境の柱4

指標17について、ごみの減量を心がけている人が他市町より高いということですので、この意識が高いところにどのような施策をするとごみの減量に効果的か考える必要があると思う。また、意識の低い人にどのような啓発をするか、将来を考えれば子供たちに環境教育をしてごみの現状を教えていくことが大事だと思います。

指標18、指標19及び指標20について、コロナ禍でごみの量は減っているが、断捨離や物を買わなくなったことが影響していると思う。今後、事業所においてはごみの排出量は増えると思いますし、家庭も含めてごみの増減には注視する必要があると思う。

#### エ 千頭アドバイザー意見

冒頭に部長から新しい計画の話があったが、まず現在の計画の間に委員の皆さんがどのような議論をして、どのような意見が出て、それに対し行政がどのような改善をしてきたかを確認し評価することが必要だと思う。

また、部会でも公園の話があったが、東海市の緑の基本計画では1人当たりの公園面積はもう増えないことになっているので、意見があった農地を緑に含めることについて行政内部で議論してほしい。

(6) その他

事務局より今後の推進委員会のスケジュール及び東海市地球温暖化対策実行計画  
(区域施策編) (素案) のパブリックコメント実施について説明を行った。